

多摩シンポジウム COMMUNITY × DESIGN × SOCIAL INNOVATION

デザインとソーシャル・イノベーションの視点から地域を考える

今、地域の社会的課題の解決のために求められているのは、問題の本質を見出し、それらを解決に結びつける新しいアイデアの創出とビジネスモデルの構築、さらにはその本質を多様なステイクホルダーに伝えるデザインです。そこで、今回の多摩シンポジウムでは、「社会や未来により良い変化をもたらすためのデザイン(ソーシャル・イノベーション・デザイン)」を追求する太刀川英輔氏をメインスピーカーにお迎えします。また、オフィスの内装設計や施工を手掛ける株式会社文祥堂が新しく生み出した間伐材を活用したブランド「KINOWA」を取り上げ、文祥堂の山川知則氏をゲストスピーカーとしてお迎えし、その背景や開発ストーリーについて語っていただきます。

メインスピーカー

太刀川 英輔

ゲストスピーカー

山川 知則

モデレーター

土肥 将敦

2015.11.27.FRI

法政大学 第31回

多摩シンポジウム

COMMUNITY × DESIGN × SOCIAL INNOVATION

デザインとソーシャル・イノベーションの 視点から地域を考える

2015.11.27.FRI

17:30 — 18:00 開場・受付

18:00 — 20:00 トークセッション

20:00 — 21:30 オープンダイアログ WITH FOOD & DRINK

会場: AWkitchen FARM 多摩センター店 東京都多摩市山王下 2-2-2 [最寄駅:京王多摩センター駅/小田急多摩センター駅
徒歩12分] *当日は上記最寄駅から無料送迎バスの運行も予定しています。詳細は事務局からの返信メールをご確認ください。

参加費: 無料 [軽食・ドリンク付き] | 定員: 100名 [定員を超える申し込みがあった場合は抽選とさせていただきます]

申込方法: 参加ご希望の方は、アドレス[hosei.tama2015@gmail.com]に①お名前[ふりがな]、②連絡先、③ご所属、

④送迎バスのご利用の有無を、明記の上、メールにてお申し込み下さい。申し込みの締切は11月11日[水]とさせていただきます。参加可否および当日のご案内については、11月20日[金]頃までに事務局よりご連絡させていただきます。

なお、当イベントの詳細につきましては、twitter[@hoseitama2015]でも随時配信しています。| 主催: 法政大学

お問い合わせ: 法政大学多摩事務部総務課(担当:地域交流センター 河野) / TEL 042 783 2044 / FAX 042 783 2167



メインスピーカー

太刀川 英輔

NOSIGNER CEO/デザインストラテジスト: 1981年生まれ。慶應義塾大学大学院理工学部研究科修士。2006年デザインファームNOSIGNER設立。建築・グラフィック・プロダクト等のデザインへの深い見識を生かし総合的なデザイン戦略を手がけるデザインストラテジスト。災害時に役立つデザインを共有する「OLIVE PROJECT」代表。内閣官房主催のクールジャパンムーブメント推進会議においてコンセプトディレクターに就任し、ミッション提言「世界の課題をクリエイティブに解決する日本」の策定に貢献。DESIGN FOR ASIA AWARDなど多数受賞。



ゲストスピーカー

山川 知則

株式会社文祥堂CSR事業室: 1981年生まれ。オフィスの内装設計施工を手掛ける(株)文祥堂の新規事業担当。同社が100周年を迎えた2012年、創業者が植林をしていたことをきっかけに、国産木材を利用した家具・内装材の開発、販売をする事業をスタート。昨年よりNOSIGNERと共にオリジナルブランドKINOWAをリブランドし、間伐材の丸太、角材、板材をそのままの形で使う「そのままの家具」をコンセプトに新作家具をリリースしている。



モデレーター

土肥 将敦

法政大学現代福祉学部 准教授: 一橋大学経済学部卒業。一橋大学大学院商学研究科博士後期課程を経て、高崎経済大学准教授。2014年より法政大学に着任。社会の諸課題を企業やNPOがビジネスの手法で解決に結びつけるソーシャル・イノベーションやCSRを専門としている。新刊「ソーシャル・ビジネス・ケース—少子高齢化時代のソーシャル・イノベーション」(中央経済社)では、病児保育を事業化したNPO法人フローレンスのビジネスモデルにおける創出と普及の本質を、幅広いステイクホルダーへのインタビューから描き出している。